

# 「道具のひみつカード」 をつくろう

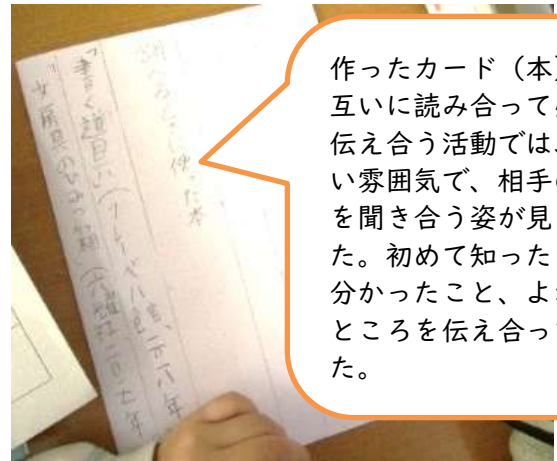
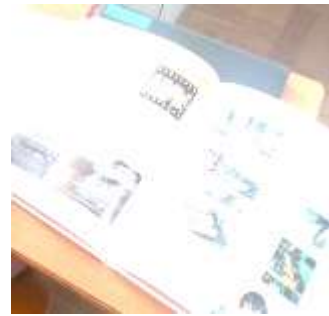
小学校3年 国語  
「道具のひみつをつたえよう」  
資料の活用・情報活用能力の育成  
(調べたことの整理)

ねらい

- 身の回りの道具から、調べたいことを選ぶことができる。
- 本やインターネットなどを活用し、情報収集することができる。
- 調べたことを整理しながら、「道具のひみつカード」に書いてまとめることができる。

## 学習展開

- ① 既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つ。
- ② 調べたい身の回りの道具を考えたり、本やインターネットなどで知りたいことを調べたりして、組み立てメモを作る。
- ③ 組み立てメモをもとにレポートを書く。
- ④ レポートを読み合い、感想を共有する。
- ⑤ 単元の学習を振り返る。



作ったカード（本）をお互いに読み合って感想を伝え合う活動では、温かい雰囲気、相手の感想を聞き合う姿が見られた。初めて知ったことや分かったこと、よかったところを伝え合っていた。

## 司書教諭と学校司書の関わり

- 学校司書と司書教諭で、おすすめの表紙や題名の本を準備する。
- 学校司書は、児童が探さない場所を予想し、そこにもテーマに沿った本があることを紹介できるように準備する。
- 学校司書と司書教諭とで、ワークシートの作成を行う。

## 指導のポイント

- 1つのテーマの本にも、図鑑や絵本など、いろいろな種類の本が存在することを実感させる。
- おすすめの表紙や題名の本を紹介する際には、児童が引き込まれるインパクトのある本を選ぶ。
- 普段関わりの少ない児童相手となるので、褒めることを中心にして関係を築きながら学習を進める。

## 資料

tupera tupera (2018) 『かぜビューン』 Gakken  
ヨシタケシンスケ (2015) 『ふまんがあります』 PHP 研究所  
大森裕子 (2015) 『〇〇のずかん』 シリーズ 白泉社